

資源循環型施設建設に関する説明会 (諏訪部地域)

【開催結果のお知らせ】



日時 平成30年8月2日
午後7時から9時まで

場所 清浄園2階会議室

主催 上田地域広域連合・上田市

説明会の主な内容

8月2日、資源循環型施設建設に関する説明会を実施いたしました。
当日は諏訪部地域の方を中心に24人の皆様に御参加いただき、多くの御質問や御意見等をいただきました。
当日に御出席できなかった皆様へも情報をお届けするため、話し合いの主な内容をお知らせいたします。

1. 皆様からの御質問と回答

質問 ①

問い

資源循環型施設の建設にあたって、具体的な地域振興策も示して欲しい。

- ・7月15日に土屋市長自ら、諏訪部地区の各戸を訪問していただいた。大変ありがたく、またこのような姿勢が大切である。
- ・諏訪部地域や周辺地域に発展的なメリットをしっかりと示してほしい。
- ・近隣住民や、耕作者から地域振興策について要望は出ていないのか。

お答え（回答者：事務局職員）

地域のイメージや価値が下がることの無いよう、取り組みます。
具体案の検討を始めていますが、皆様の御意見もお聞かせください。

- ・諏訪部地域をより魅力ある素晴らしい地域にしていくという視点に立ち、知恵を絞り皆で取り組んでいく必要があります。
- ・拠点となる施設の整備や、用途地域の変更により幅広い開発ができるよう、考えてまいります。
- ・福祉施設や体育施設等の具体的な案について、庁内で検討を進めております。
- ・近隣住民の方から振興策について御意見もいただいております。今後も御意見があればお聞かせください。

質問 ②

問い

環境アセスメントは、どれくらいの時間がかかるのか。

- ・環境アセスメントについて、かなり時間を費やすと聞いたが、待っていただける余裕はあるのか。
- ・平成24年に建設候補地を決定しているにも関わらず、なぜ今まで環境アセスメントを実施していないのか。いつ事業を開始するのか。
- ・環境アセスメントはスピーディーに進めてほしい。

お答え（回答者：事務局職員）

来年から着手する予定であり、4年程度かかります。

- ・環境アセスメントについては配慮書、方法書、準備書、評価書といった手続きが必要です。実施については4年程度かかると見込まれます。
- ・環境アセスメントと施設の整備計画は密接に関わるため、余熱利用計画などもあわせてこの期間に策定を進めていきます。
- ・平成24年に提案してから6年が経過し、諏訪部地域については説明ができない状況が続いております。資源循環型施設建設対策連絡会^{*}とは懇談を重ね、秋和・上塩尻・下塩尻自治会の協力をいただきながら、昨年11月から12月にかけて説明会を開催することができました。
- ・環境アセスメントの配慮書の手続きについては、本年度予算措置済みです。対策連絡会との協議により、来年1月から実際に調査に着手していきたいと考えております。
- ・環境アセスメントに4年間を要しますが、その間に周辺整備や地域振興施設についての協議・検討が必要となるため、忙しい作業となります。

※資源循環型施設建設対策連絡会

秋和自治会、上塩尻自治会、下塩尻自治会、上田市柵網土地改良区、上田市坂城町欠口土地改良区、南部耕作者組合の6団体の役員で構成される組織。諏訪部自治会、下沖振興組合は平成29年6月に脱退。

質問 ③

問い

自治会総会では地元説明会を開かないと環境アセスメントに着手できず、施設は建設できないといった説明で採決をとっているが、その説明は正しいのか。

- ・ 諏訪部自治会総会では、環境アセスメントの最初の手続き（配慮書の作成）において、「計画地が1箇所の場合には地元説明会を開催する必要がある」と説明している。

お答え（回答者：事務局職員）

長野県の条例では、環境アセスメントの着手前に説明会を開催する義務はありません。

しかし行政として、着手前に丁寧な説明をさせていただき、住民参加型の環境アセスメントを実施していきます。

- ・ 長野県環境影響評価条例の規定では、環境アセスメント開始後の手続きの中で説明会の開催を義務付けておりますが、開始前の説明会開催は義務付けられてはおりません。
- ・ 制度上では説明会を開催しなくても環境アセスメントに着手することができます。
- ・ ただし、広域連合と上田市では、着手前に地域の皆様に手続きの流れ等を御説明させていただき、住民参加型の環境アセスメントを実施したいと考えています。

御意見

自治会から正確な情報が届かない。行政から正確な情報提供をお願いしたい。環境アセスメント実施にあたっては、専門家の意見を取り入れていただきたい。住民は素人であるため、専門家の第三者的な意見が欲しい。

お答え（回答者：事務局職員）

専門家を交えた「新たな組織」を設置するため、資源循環型施設建設対策連絡会と検討しています。今後も正確な情報提供を心がけてまいります。

質問 ④

問い

行政はごみ焼却施設を迷惑施設と認識していて、迷惑施設を建設するのか。
迷惑施設かどうか判断するのは行政ではなく、住民である。
そこを認識して進めてほしい。

お答え（回答者：事務局職員）

近年のごみ焼却施設は最新技術で国の厳しい基準をクリアしていますが、地域の皆さんの心配や不安があることをしっかり認識した上で進めてまいります。

- ・ごみ焼却施設は過去からの経過などの理由で迷惑と捉えている方がおられます。
- ・新たなごみ焼却施設は法律等の基準を確実にクリアできるものを計画しておりますが、地元の方々に心配や不安があることは十分認識しております。
そういう観点から、説明時は「迷惑施設として懸念されている」と表現しています。
- ・今後、専門家も交えた「新たな組織」の場で、地域の皆さんの心配や不安を解消するための協議を進めてまいります。

質問 ⑤

問い

今後、諏訪部地域とはどのように話し合いを進めていくのか。

お答え（回答者：事務局職員）

今後も今回のような説明会を開催していく予定です。

- ・資源循環型施設建設対策連絡会との協議を継続して進めております。
諏訪部自治会の参加も継続してお願いしてまいります。参加いただけない場合は今後も今回のような形で説明会を開催したいと考えております。

質問 ⑥

問い

自治会総会では、建設候補地となる清浄園用地の地元は諏訪部のみと説明していたが、正しいのか。

お答え（回答者：事務局職員）

清浄園の敷地は常磐城と秋和にまたがっています。

- ・ 資料28ページのとおり、大字界については大字常磐城が約6割、大字秋和が約4割の面積割合で、清浄園敷地内に大字界があります。
- ・ これは法務局でも確認することができます。また、清浄園を汚物処理場として指定した都市計画決定時の資料でも、所在地は常磐城と秋和と記載されております。
- ・ 清浄園は常磐城と秋和にまたがりますが、住所では代表的な地番として大字常磐城を使っております。

質問 ⑦

問い

清浄園の土地が秋和にも入っていることを秋和自治会は知っているのか。また、秋和自治会は施設建設に同意しているのか。

お答え（回答者：事務局職員）

清浄園の土地が秋和にも入っていることは、秋和自治会の役員の方も理解されています。

建設合意には至っておりませんが、秋和自治会及び南部耕作者組合が参画している資源循環型施設建設対策連絡会を通じて、協議を進めております。

質問 ⑧

問い

地域振興策については、柔軟な発想で住民の心を動かすような案を具体的に示してほしい。

- ・例えば市役所を移転して併設するくらいの発想をして欲しい。

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

まずは環境アセスメントを進め、同時に地域振興策も考えていきます。地域振興策については皆さんの御意見もお聞かせください。

- ・市役所は現地改築中であり移転は困難ですが、地域の拠点となるような施設の整備を検討しております。

質問 ⑨

問い

分かりやすく具体的な計画図や、スケジュールを示してほしい。

- ・説明会の対象範囲を西部地区等、より広い範囲にして欲しい。

お答え（回答者：土屋 陽一 市長）

資源循環型施設建設対策連絡会とスピード感を持って協議し、情報提供をしていきます。

- ・地域振興策の検討や環境アセスメントについて、資源循環型施設建設対策連絡会と取り組んでいきます。
- ・専門家を交えた「新たな組織」を設置し、スピード感を持って協議を行う予定です。
- ・情報について、地域の皆さんにしっかり届くように取り組んでいきます。

2. 皆様からの主な御意見

各戸に正確な情報を周知して欲しい。

- ・ 諏訪部地区の区民に正確な情報が伝わらない状況であるため、各戸に直接郵送等により情報を周知して欲しい。

全国から注目される、素晴らしい施設にして欲しい。

- ・ 日本中から視察が来るような、西部地区の拠点として礎になる施設を作ってほしい。

3. 土屋陽一 市長からの御礼

- 本日は御多用のところ、諏訪部地区の方、下沖振興組合の方にお集まりをいただき、ありがとうございます。
- 我々も事業に真剣に取り組んでいくことをお約束いたします。
- 資源循環型施設建設対策連絡会との協議状況や正確な情報を、今後も皆さんにお伝えしていきます。
- 資源循環型施設建設対策連絡会の皆さんと、新たな組織を発足させ、環境アセスメント、施設の安全性、地域振興策など具体的な話し合いを進めていきます。
- 資源循環型施設建設対策連絡会を脱退した諏訪部地域の皆さん、下沖振興組合の皆さんとも同時進行で情報提供を進めていきます。
- 皆さま方の御協力が必要となってまいりますので、どうかよろしく申し上げます。